

【平成30年度 経済産業省認定事業 異分野連携新事業分野開拓計画（新連携事業）】

第1回職場環境調査（アンケート）調査報告書

令和3年7月

株式会社サンキョウーエンビックス・峰南工業株式会社

目次

I 職場環境整備の実施状況

II 職場における安全性確保の状況

III 安全衛生の管理体制の状況

IV 職場の快適度

V アンケート結果からの考察

■はじめに

この度はこの職場環境改善調査（アンケート）にご協力くださり、誠にありがとうございました。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で経営環境は刻一刻と変化しています。会社における生活様式も変化し、職場環境を変えていかなければ、企業の存続が問われる時代となっています。会社が永続的に成長し発展し続けるためには、社員を大切にすることが最も重要なことで、職場改善は必須のこととご理解頂いているかと思えます。

本アンケートの結果は見応えのある面白い内容となっています。皆様方の目線で、分析し評価して頂き、職場改善への気付きとなればと考えております。

アンケートのみならず、職場改善の改善でお困りの際は、当プロジェクトにお声をかけて頂ければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

株式会社サンキョウエンビックス
代表取締役 浅野 浩一

峰南工業株式会社
代表取締役 相野 和良

■調査の目的

1. 調査の目的

働き方改革、人材不足が社会的な課題となっている中、多くの企業と職場において、働く人の快適さと生産性の向上に向けた職場環境改善の必要性が高まっています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、労働衛生への関心が高くなっています。

こうした背景より、本調査は独自のアンケート形式の調査により、職場の安全度・不快感（職場環境の不満足度）を判定し、その結果をもとに安全で快適な職場づくりのための職場環境改善コンサルティングを目的としています。

2. 調査対象・調査期間・調査方法

調査対象：岡山県内の中小企業 1,068 社（従業員数 150 人以下で無作為抽出）

調査期間：2021 年 1 月 20 日～2 月 26 日

調査方法：郵送によるアンケート

3. 回答数・回答割合

回答数：192 社（回答率 18.0%）、無効回答なし。

4. 留意事項

本調査は、経営者または管理者より回答をいただいております。回答においては、事業者を特定できないように、無記名で回答をお願いしました。なお、回答は 5 段階評価で選択するものとししました。

I 職場環境整備の実施状況

職場環境整備の実施状況では、総じて実施割合の高い回答結果となりました。未実施もしくは一部実施と推測される回答事業場が10%弱存在しています。

(1) 作業は“決まった場所”で行われている（設問1）

作業場所に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が74.2%となっています。一方、実施が進んでいないと考えられる「2. あまり思わない」は9.3%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	60	30.9%
4.そう思う	84	43.3%
3.どちらとも言えない	19	9.8%
2.あまり思わない	18	9.3%
1.わからない・思わない	13	6.7%
	194	100.0%
5+4	144	74.2%

(2) 作業場所に“換気をする設備”が設置されている（設問4）

作業場所の換気に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が72.6%となっています。一方、実施が進んでいないと考えられる「2. あまり思わない」は5.2%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	67	34.5%
4.そう思う	74	38.1%
3.どちらとも言えない	36	18.6%
2.あまり思わない	10	5.2%
1.わからない・思わない	7	3.6%
	194	100.0%
5+4	141	72.7%

(3) 休憩場所やトイレ等に困ることはない (設問18)

作業場所の休憩場所やトイレに関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が 82.3%となっています。一方、実施が進んでいないと考えられる「2. あまり思わない」は 5.2%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	74	38.3%
4.そう思う	85	44.0%
3.どちらとも言えない	23	11.9%
2.あまり思わない	10	5.2%
1.わからない・思わない	1	0.5%
	193	100.0%
5+4	159	82.4%

(4) 作業場所に“段差等”の躓き(つまづき)の危険はない (設問19)

作業場所の段差に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が 42.7%となっています。一方、実施が進んでいないと考えられる「2. あまり思わない」は 15.1%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	31	16.1%
4.そう思う	51	26.6%
3.どちらとも言えない	72	37.5%
2.あまり思わない	29	15.1%
1.わからない・思わない	9	4.7%
	192	100.0%
5+4	82	42.7%

(5) 作業場所について、不安に思うことはない (設問20)

作業場所の不安に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が 47.6%となっています。一方、実施が進んでいないと考えられる「2. あまり思わない」は 9.8%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	24	12.4%
4.そう思う	68	35.2%
3.どちらとも言えない	75	38.9%
2.あまり思わない	19	9.8%
1.わからない・思わない	7	3.6%
	193	100.0%
5+4	92	47.7%

II 職場における安全性確保の状況

職場における安全性確保の状況では、総じて安全性確保の割合が高い回答結果となりました。一部改善が必要と推測される回答事業場が10%強存在しています。

(1) “危険な作業”（高所作業、高温作業他）はない（設問2）

作業の安全性に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が52.6%となっています。一方、何らかの危険を感じると考えられる「2. あまり思わない」は16.5%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	51	26.3%
4.そう思う	51	26.3%
3.どちらとも言えない	32	16.5%
2.あまり思わない	32	16.5%
1.わからない・思わない	28	14.4%
	194	100.0%
5+4	102	52.6%

(2) “有害な材料”（塗料や洗浄剤、有機溶剤等）を使っていない（設問3）

有害な材料の未使用に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が58.2%となっています。一方、何らかを使用していると考えられる「2. あまり思わない」は18.6%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	59	30.4%
4.そう思う	54	27.8%
3.どちらとも言えない	20	10.3%
2.あまり思わない	36	18.6%
1.わからない・思わない	25	12.9%
	194	100.0%
5+4	113	58.2%

(3) “保護具”が正しく使用されている（設問6）

保護具の使用に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が75.7%となっています。一方、保護具の使用が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は5.2%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	65	33.7%
4.そう思う	81	42.0%
3.どちらとも言えない	30	15.5%
2.あまり思わない	10	5.2%
1.わからない・思わない	7	3.6%
	193	100.0%
5+4	146	75.6%

(4) “整理・整頓・清掃（3S）のルール”が定着している（設問7）

ルールの定着に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が66.7%となっています。一方、ルールの定着が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は6.8%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	42	21.9%
4.そう思う	86	44.8%
3.どちらとも言えない	50	26.0%
2.あまり思わない	13	6.8%
1.わからない・思わない	1	0.5%
	192	100.0%
5+4	128	66.7%

(5) “作業前にKY活動”が行われている（設問9）

KY活動に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が47.6%となっています。一方、KY活動が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は14.3%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	42	22.2%
4.そう思う	48	25.4%
3.どちらとも言えない	52	27.5%
2.あまり思わない	27	14.3%
1.わからない・思わない	20	10.6%
	189	100.0%
5+4	90	47.6%

Ⅲ 安全衛生の管理体制の状況

安全衛生の管理体制の状況では、他に比べ改善が必要と推測される回答事業場が多く、特にリスクアセスメントでは21.6%存在しています。

(1) “定期的に環境測定”が行われている（設問5）

作業環境測定に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が41.9%となっています。一方、作業環境測定の実施が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は17.3%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	48	25.1%
4.そう思う	32	16.8%
3.どちらとも言えない	34	17.8%
2.あまり思わない	33	17.3%
1.わからない・思わない	44	23.0%
	191	100.0%
5+4	80	41.9%

(2) “安全衛生教育”が定期的に行われている。（設問8）

安全衛生教育に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が56.7%となっています。一方、安全衛生教育が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は12.5%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	40	20.8%
4.そう思う	69	35.9%
3.どちらとも言えない	48	25.0%
2.あまり思わない	24	12.5%
1.わからない・思わない	11	5.7%
	192	100.0%
5+4	109	56.8%

(3) “定期的にリスクアセスメント”が行われている（設問10）

リスクアセスメントに関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が47.9%となっています。一方、リスクアセスメントの実施が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は21.6%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	39	20.5%
4.そう思う	52	27.4%
3.どちらとも言えない	47	24.7%
2.あまり思わない	41	21.6%
1.わからない・思わない	11	5.8%
	190	100.0%
5+4	91	47.9%

(4) “作業を行うために必要な資格”を知っている（設問11）

作業資格の認識度に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が80.3%となっています。一方、認識が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は4.1%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	76	39.4%
4.そう思う	79	40.9%
3.どちらとも言えない	25	13.0%
2.あまり思わない	8	4.1%
1.わからない・思わない	5	2.6%
	193	100.0%
5+4	155	80.3%

(5) “作業場所の管理を行うために必要な資格”を知っている（設問12）

管理資格の認識度に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が71.0%となっています。一方、認識が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は6.2%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	61	31.6%
4.そう思う	76	39.4%
3.どちらとも言えない	38	19.7%
2.あまり思わない	12	6.2%
1.わからない・思わない	6	3.1%
	193	100.0%
5+4	137	71.0%

(6) “環境改善を行う仕組み”がある（設問13）

環境改善に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が43.6%となっています。一方、改善が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は12.4%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	31	16.1%
4.そう思う	53	27.5%
3.どちらとも言えない	79	40.9%
2.あまり思わない	24	12.4%
1.わからない・思わない	6	3.1%
	193	100.0%
5+4	84	43.5%

(7) “感染防止等の衛生管理の仕組み”がある（設問14）

衛生管理の仕組みに関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が55.9%となっています。一方、仕組みが十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は9.8%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	35	18.1%
4.そう思う	73	37.8%
3.どちらとも言えない	61	31.6%
2.あまり思わない	19	9.8%
1.わからない・思わない	5	2.6%
	193	100.0%
5+4	108	56.0%

(8) “災害防止等の安全管理の仕組み”がある（設問15）

安全管理の仕組みに関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が80.7%となっています。一方、認識が十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は2.1%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	58	30.2%
4.そう思う	97	50.5%
3.どちらとも言えない	29	15.1%
2.あまり思わない	4	2.1%
1.わからない・思わない	4	2.1%
	192	100.0%
5+4	155	80.7%

(9) 作業場所に関連する“法令、規制等”を知っている（設問16）

法令・規則等の認識に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が70.4%となっています。一方、仕組みが十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は6.7%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	46	23.8%
4.そう思う	90	46.6%
3.どちらとも言えない	42	21.8%
2.あまり思わない	13	6.7%
1.わからない・思わない	2	1.0%
	193	100.0%
5+4	136	70.5%

(10) 作業場所を“管理する担当者”が選任されている（設問17）

担当者の選任に関する設問では、「5. 該当しない・とてもそう思う」と「4. そう思う」の合計が80.7%となっています。一方、仕組みが十分でないと考えられる「2. あまり思わない」は2.1%でした。

5.該当しない・とてもそう思う	58	30.2%
4.そう思う	97	50.5%
3.どちらとも言えない	29	15.1%
2.あまり思わない	4	2.1%
1.わからない・思わない	4	2.1%
	192	100.0%
5+4	155	80.7%

IV 職場の快適度

1. 温度・湿度に関する負担感の軽減

温度・湿度に関する負担感の軽減に関する設問では、「蒸し暑さ」への対策の難しさが伺えます。

■作業場所の“暑さ”について、対策は十分である（設問22）

5.該当しない・とてもそう思う	30	15.5%	51.8%
4.そう思う	70	36.3%	
3.どちらとも言えない	56	29.0%	19.2%
2.あまり思わない	33	17.1%	
1.わからない・思わない	4	2.1%	
	193	100.0%	32.6%

■作業場所の“蒸し暑さ”について、対策は十分である（設問26）

5.該当しない・とてもそう思う	30	15.5%	44.5%
4.そう思う	56	29.0%	
3.どちらとも言えない	69	35.8%	19.7%
2.あまり思わない	34	17.6%	
1.わからない・思わない	4	2.1%	
	193	100.0%	24.9%

■作業場所の“エアコン等の設定”に不快感はない（設問28）

5.該当しない・とてもそう思う	48	24.9%	66.4%
4.そう思う	80	41.5%	
3.どちらとも言えない	46	23.8%	9.8%
2.あまり思わない	13	6.7%	
1.わからない・思わない	6	3.1%	
	193	100.0%	56.6%

■作業場所の“寒さ”について、対策は十分である（設問34）

5.該当しない・とてもそう思う	27	14.1%	49.2%
4.そう思う	67	35.1%	
3.どちらとも言えない	63	33.0%	17.8%
2.あまり思わない	30	15.7%	
1.わからない・思わない	4	2.1%	
	191	100.0%	31.4%

■作業場所の“空気の乾燥”について、対策は十分である（設問35）

5.該当しない・とてもそう思う	25	13.1%	47.1%
4.そう思う	65	34.0%	
3.どちらとも言えない	70	36.6%	16.2%
2.あまり思わない	29	15.2%	
1.わからない・思わない	2	1.0%	
	191	100.0%	30.9%

2. 設備に関する負担感の軽減

設備に関する負担感の軽減に関する設問では、「揺れ」「稼働音」「老朽化」への対策の難しさが伺えます。特に「老朽化」は「そう思う・思わない（5 + 4 - 2 + 1）」が拮抗している結果となっています。

■作業で発生する“騒音”について、対策は十分である（設問25）

5.該当しない・とてもそう思う	34	17.6%	52.3%
4.そう思う	67	34.7%	
3.どちらとも言えない	66	34.2%	13.5%
2.あまり思わない	21	10.9%	
1.わからない・思わない	5	2.6%	
	193	100.0%	38.8%

■作業場所で発生する“揺れ”について、対策は十分である（設問29）

5.該当しない・とてもそう思う	54	28.0%	57.5%
4.そう思う	57	29.5%	
3.どちらとも言えない	63	32.6%	9.8%
2.あまり思わない	12	6.2%	
1.わからない・思わない	7	3.6%	
	193	100.0%	47.7%

■作業場所の“気になる音”について、対策は十分である（設問33）

5.該当しない・とてもそう思う	32	16.9%	56.1%
4.そう思う	74	39.2%	
3.どちらとも言えない	63	33.3%	10.6%
2.あまり思わない	17	9.0%	
1.わからない・思わない	3	1.6%	
	189	100.0%	45.5%

■作業場所の設備等の“稼働音”について、対策は十分である（設問4 1）

5.該当しない・とてもそう思う	31	16.3%	51.6%
4.そう思う	67	35.3%	
3.どちらとも言えない	71	37.4%	11.0%
2.あまり思わない	17	8.9%	
1.わからない・思わない	4	2.1%	
	190	100.0%	40.6%

■作業場所の設備等が“老朽化している”ことに不安はない（設問4 8）

5.該当しない・とてもそう思う	24	12.6%	39.5%
4.そう思う	51	26.8%	
3.どちらとも言えない	57	30.0%	30.6%
2.あまり思わない	40	21.1%	
1.わからない・思わない	18	9.5%	
	190	100.0%	8.9%

3. 臭いに関する負担感の軽減

臭いに関する負担感の軽減設備に関する設問では、総じて対策が進んでいる状況が伺えます。

■作業場所で発生する“におい”について、対策は十分である（設問2 1）

5.該当しない・とてもそう思う	33	17.1%	58.0%
4.そう思う	79	40.9%	
3.どちらとも言えない	51	26.4%	15.6%
2.あまり思わない	21	10.9%	
1.わからない・思わない	9	4.7%	
	193	100.0%	42.5%

■作業場所で感じる“臭い”について、対策は十分である（設問3 6）

5.該当しない・とてもそう思う	34	17.8%	49.7%
4.そう思う	61	31.9%	
3.どちらとも言えない	74	38.7%	11.5%
2.あまり思わない	17	8.9%	
1.わからない・思わない	5	2.6%	
	191	100.0%	38.2%

■エアコン風のおいについて、対策は十分である（設問50）

5.該当しない・とてもそう思う	33	17.4%	57.9%
4.そう思う	77	40.5%	
3.どちらとも言えない	62	32.6%	9.5%
2.あまり思わない	11	5.8%	
1.わからない・思わない	7	3.7%	48.4%
	190	100.0%	

4. 危険性に関する負担感の軽減

危険性に関する負担感の軽減に関する設問では、「材料や原料」の安全性は確保されているものの、危険と感じる割合が一定数存在するというギャップが見られる結果となっています。

■使用している“材料”や“原料”の安全性は確保されている（設問31）

5.該当しない・とてもそう思う	55	28.9%	84.7%
4.そう思う	106	55.8%	
3.どちらとも言えない	26	13.7%	1.6%
2.あまり思わない	2	1.1%	
1.わからない・思わない	1	0.5%	83.2%
	190	100.0%	

■作業場所の“受動喫煙対策”は十分である（設問27）

5.該当しない・とてもそう思う	65	33.9%	80.3%
4.そう思う	89	46.4%	
3.どちらとも言えない	26	13.5%	6.3%
2.あまり思わない	9	4.7%	
1.わからない・思わない	3	1.6%	74.0%
	192	100.0%	

■作業場所の“見えにくさ”について、対策は十分である（設問38）

5.該当しない・とてもそう思う	25	13.1%	56.0%
4.そう思う	82	42.9%	
3.どちらとも言えない	71	37.2%	6.8%
2.あまり思わない	10	5.2%	
1.わからない・思わない	3	1.6%	49.2%
	191	100.0%	

■使用する“原材料”が“怖い”と感じることがある（設問4 4）※

5.該当しない・とてもそう思う	40	21.1%	49.5%
4.そう思う	54	28.4%	
3.どちらとも言えない	42	22.1%	28.5%
2.あまり思わない	25	13.2%	
1.わからない・思わない	29	15.3%	21.0%
	190	100.0%	

5. 作業に関する身体的負担感の軽減

作業に関する身体的負担感の軽減に関する設問では、「腰が痛い」「気分が悪い」ことへの対策の必要性が高いことが伺える結果となっています。

■作業場所で発生する“ほこりっぽさ”について、対策は十分である（設問2 3）

5.該当しない・とてもそう思う	33	17.1%	51.8%
4.そう思う	67	34.7%	
3.どちらとも言えない	69	35.8%	12.4%
2.あまり思わない	22	11.4%	
1.わからない・思わない	2	1.0%	39.4%
	193	100.0%	

■作業場所で“腰が痛い”と感じることについて、対策は十分である（設問4 2）

5.該当しない・とてもそう思う	18	9.4%	31.9%
4.そう思う	43	22.5%	
3.どちらとも言えない	91	47.6%	20.4%
2.あまり思わない	34	17.8%	
1.わからない・思わない	5	2.6%	11.5%
	191	100.0%	

■作業場所が“狭くて息苦しい”ことについて、対策は十分である（設問4 5）

5.該当しない・とてもそう思う	62	32.6%	64.7%
4.そう思う	61	32.1%	
3.どちらとも言えない	43	22.6%	12.6%
2.あまり思わない	16	8.4%	
1.わからない・思わない	8	4.2%	52.1%
	190	100.0%	

■作業場所で“気分が悪い”と感じることがある（設問４９）

5.該当しない・とてもそう思う	27	14.3%	46.0%
4.そう思う	60	31.7%	
3.どちらとも言えない	46	24.3%	29.7%
2.あまり思わない	26	13.8%	
1.わからない・思わない	30	15.9%	16.3%
	189	100.0%	

6. 作業の非効率性の軽減

作業の非効率性の軽減に関する設問では、「片付かない」ことへの対策の必要性が高いことが伺える結果となっています。

■作業場所は、十分な“広さ（スペース）”がある（設問２４）

5.該当しない・とてもそう思う	31	16.1%	59.9%
4.そう思う	84	43.8%	
3.どちらとも言えない	52	27.1%	13.1%
2.あまり思わない	22	11.5%	
1.わからない・思わない	3	1.6%	46.8%
	192	100.0%	

■作業場所の“清潔感”について、対策は十分である（設問３２）

5.該当しない・とてもそう思う	31	16.2%	63.3%
4.そう思う	90	47.1%	
3.どちらとも言えない	55	28.8%	7.8%
2.あまり思わない	13	6.8%	
1.わからない・思わない	2	1.0%	55.5%
	191	100.0%	

■作業場所における“作業性”は、効率的である（設問３７）

5.該当しない・とてもそう思う	22	11.5%	59.1%
4.そう思う	91	47.6%	
3.どちらとも言えない	65	34.0%	6.8%
2.あまり思わない	10	5.2%	
1.わからない・思わない	3	1.6%	52.3%
	191	100.0%	

■作業場所で“回りが気になる”と感じることはない（設問39）

5.該当しない・とてもそう思う	29	15.3%	56.8%
4.そう思う	79	41.6%	
3.どちらとも言えない	63	33.2%	10.0%
2.あまり思わない	15	7.9%	
1.わからない・思わない	4	2.1%	
	190	100.0%	46.9%

■作業場所が“片付かない”と感じることはない（設問46）

5.該当しない・とてもそう思う	25	13.2%	45.3%
4.そう思う	61	32.1%	
3.どちらとも言えない	70	36.8%	17.9%
2.あまり思わない	26	13.7%	
1.わからない・思わない	8	4.2%	
	190	100.0%	27.4%

7. 職場の視覚に関する負担の軽減

職場の視覚に関する負担の軽減に関する設問では、「目の疲れ」に対する改善の必要性が高いことが伺える結果となっています。

■作業場所の“まぶしさ”について、対策は十分である（設問30）

5.該当しない・とてもそう思う	55	28.5%	66.3%
4.そう思う	73	37.8%	
3.どちらとも言えない	50	25.9%	7.8%
2.あまり思わない	11	5.7%	
1.わからない・思わない	4	2.1%	
	193	100.0%	58.5%

■作業場所が“明るすぎる”ことについて、対策は十分である（設問40）

5.該当しない・とてもそう思う	46	24.2%	64.7%
4.そう思う	77	40.5%	
3.どちらとも言えない	56	29.5%	5.8%
2.あまり思わない	9	4.7%	
1.わからない・思わない	2	1.1%	
	190	100.0%	58.9%

■作業における“目の疲れ”について、対策は十分である（設問4 3）

5.該当しない・とてもそう思う	15	7.9%	30.0%
4.そう思う	42	22.1%	
3.どちらとも言えない	97	51.1%	18.9%
2.あまり思わない	29	15.3%	
1.わからない・思わない	7	3.7%	
	190	100.0%	11.1%

■作業場所が“暗い”と感じることについて、対策は十分である（設問4 7）

5.該当しない・とてもそう思う	39	20.5%	55.2%
4.そう思う	66	34.7%	
3.どちらとも言えない	65	34.2%	10.5%
2.あまり思わない	15	7.9%	
1.わからない・思わない	5	2.6%	
	190	100.0%	44.7%

V アンケート結果からの考察

1. 職場環境整備の実施状況

「職場環境の状況」については、比較的实施度の高い結果となっています。ただし、比較的「2. あまり思わない」の回答が多かった「段差」に関することです。

近年の労働災害（休業4日以上死傷災害）の原因で最も多い「転倒」にも一致した回答であると考えられます。

2. 職場における安全性確保の状況

「職場における作業の状況」についても、比較的实施度の高い結果となっています。ただし、比較的「2. あまり思わない」の回答が多かったのが、「危険な作業」「有害な材料」「KY活動」です。

一般的に、日常業務においては、「こうするように教わった」「今までこうしてきた」のような感覚で作業が行われることが多く、「危険な作業」「有害な材料」であるかを考える機会が少ないものです。過去に重大な労働災害や健康被害が発生していなければ、「KY活動」の必要性・有効性が薄れる傾向にあることにも一致した回答であると考えられます。

3. 安全衛生の管理体制の状況

「安全衛生の管理体制の状況」については、比較的实施度の高い結果であるものの、他の項目に比べると実施割合が低いものがあります。比較的「2. あまり思わない」の回答が多かったのが、「作業環境測定」「安全衛生教育」「リスクアセスメント」です。

ただし、最も実施度が低い結果となった「リスクアセスメントの実施状況」68.9%は厚生労働省の安全衛生調査結果（平成30年度）の45.9%を大きく上回っています。

第2表 リスクアセスメントの実施の有無及び実施内容別事業所割合

(単位:%)

区 分	事業所計	リスクアセスメントの実施内容 (複数回答)					
		リスクアセスメント を実施している	作業に用い る機械の危 険性に関す る事項	作業に用い る化学物質 の危険性・ 有害性に関 する事項	腰痛のおそ れのある作 業に関する 事項	熱中症予防 に着目した 暑い場所 での作業に 関する事項	
平成29年 (事業所規模)	100.0	45.9	(100.0)	(62.5)	(37.0)	(44.5)	(58.8)
1,000人以上	100.0	77.5	(100.0)	(70.3)	(78.9)	(55.7)	(51.7)
500～999人	100.0	71.4	(100.0)	(77.5)	(73.7)	(54.7)	(52.9)
300～499人	100.0	72.3	(100.0)	(67.8)	(63.3)	(55.9)	(51.2)
100～299人	100.0	69.1	(100.0)	(65.2)	(49.0)	(54.5)	(58.6)
50～99人	100.0	56.9	(100.0)	(64.6)	(38.5)	(55.5)	(62.6)
30～49人	100.0	50.4	(100.0)	(65.5)	(41.6)	(44.4)	(61.2)
10～29人	100.0	41.5	(100.0)	(60.9)	(33.3)	(41.1)	(57.7)
平成28年	100.0	46.5	(100.0)	(63.2)	(31.3)	(43.9)	(52.5)

4. 職場の快適度

これまでの調査結果は法令や規制に義務付けられたものですが、ここからは実際に職場で働く方の快適度を聞いています。

全体的に「3. どちらとも思わない」の回答が多くみられます。一般的に、「快適度」は個人の感覚による評価となります。本調査の質問に対して、「良い」と思われる状態、「悪い」と思われる状態の両面があるなど、どちらかに判断できないことも推測されます。そういった点からも、改善の余地が潜んでいることも考えられます。

(1) 温度・湿度に関する負担感の軽減

「温度・湿度に関する負担感の軽減」については、比較的満足度の高い結果となっています。ただし、比較的「2. あまり思わない」の回答が多かったのが、「蒸し暑さ」です。

近年の異常気象により夏場に酷暑が続くことが多く、暑さへの不快感が高くなっています。加えて、

新型コロナウイルス感染症の拡大により、各事業場において窓や出入口を開放し、換気をしながらエアコン稼働をさせることが多く、「蒸し暑さ」を感じる人の多かったことが回答からも推測されます。

(2) 設備に関する負担感の軽減

「設備に関する負担感の軽減」については、比較的満足度の高い結果となっています。ただし、比較的「2. あまり思わない」の回答が多かったのが、「老朽化」です。

建物の防音・防振構造など、発生する騒音や振動等の不快要因を除去する機能が付帯する設備などにより、感覚的な不快感は低減されている回答結果と見受けられます。一方で、設備のライフサイクルが短く、最新設備と既存設備を比較することで、「老朽化」の感覚が高まっていることも考えられます。

(3) 臭いに関する負担感の軽減

「臭いに関する負担感の軽減」については、比較的満足度の高い結果となっています。

(4) 危険性に関する負担感の軽減

「危険性に関する負担感の軽減」については、比較的満足度の高い結果となっています。ただし、安全性の対策は十分であっても、怖いと感じる方の割合が相対的に高い結果となりました。このことは、安全衛生の管理体制を構築しているものの、環境測定やリスクアセスメントなどへの取組みが不十分な事業場では、安全衛生の現状が十分に把握できておらず、潜在的な不安を示す回答となっています。

(5) 作業に関する身体的負担感の軽減

「作業に関する身体的負担感の軽減」については、比較的満足度の高い結果となっています。ただし、比較的「2. あまり思わない」の回答が多かったのが、「腰が痛い」「気分が悪い」です。

作業の省力化・生産性向上として IT や IoT の導入により、直接的な身体への負担は軽減されています。一方で、長時間にわたり同じ姿勢で作業が行われることで、腰痛や目の疲れなど身体的な負担が増加している傾向に一致する回答となっています。

(6) 作業の非効率性の軽減

「作業の非効率性の軽減」については、比較的満足度の高い結果となっています。ただし、比較的「2. あまり思わない」の回答が多かったのが、「片付かない」です。

前述のとおり、IT や IoT の導入による効率化が満足度を高める結果となっています。一方で、整理・整頓・清掃の3Sについて、体系的な取組みに課題を感じているとの回答が多く挙げられています。

5. 安全衛生の管理状況の他項目への影響（相関関係）

相対的に実施割合の低かった安全衛生の管理体制の状況のうち、特に低位である3項目（「作業環境測定」「安全衛生教育」「リスクアセスメント」）は、管理の中でも応用的（汎用的に適用の義務がなく、努力義務であるか、自主管理に位置付けられる）と言えます。

これらを他の項目とクロス集計を行ったところ、この3項目の実施割合は高い事業場と、比較的低い事業場に二分されていました。このことから推察すると、実施割合の高い事業場では、基本的な管理項目と位置付けていると推測され、実際に単純集計においても実施割合が高い項目となっています。一方、実施割合の低い事業場では、個々で対応していなければならぬ項目であると考えられます。

6. 職場の快適度

職場の快適度は主観的な感覚が混じることから、一概に良し悪しが判断できないこともあります。この結果として「3. どちらとも言えない」が多くなったと推測できます。ただし、比較的「2. あまり思わない」が高い項目は全社的な職場環境面の課題として取り組みの優先順位が高いと考えられます。低かった個別項目については、個別対応で改善できる場所もあれば、仕組みの構築による改善が必要な場合もあると考えます。

7. 労務管理上からの考察

(1) 能動的対策の必要性

21世紀に入って社会変革がますます加速する中、法令の規制を守ることで受動的に対策するという従来の考え方から、能動的に危険性を把握し、先んじて対策するという考え方にシフトする必要があります。まずは現場で働くみなさんの自主点検から始めてみる必要があります。

(2) 生産性・安全性からの改善

直接事故などの原因にはならないものの、「目の疲れ」「躓き」「蒸し暑さ」など作業効率を悪化させている要因が表れている恐れがあります。また、作業の状況に対する回答（「老朽化」「片付かない」「気分が悪い」）についても、同様の所感となります。

微小なストレスであっても慢性的に蓄積していくことや、集中力の低下を招く原因になりかねないことを考えると、職場環境の改善を行うことにより、効率化につながることも期待できます。

管理体制の状況についても良好な結果ですが、「環境改善を行う仕組み」への実施度が若干低めであることが、事業所全般について「改善の仕組み」に不備があることとリンクしていると仮定できるならば、こちらについても「職場環境の改善」は同様の効果が期待できます。

8. おわりに

本調査は、50の設問に対して回答をいただきました。設問1から設問20までは、職場における安全衛生に関する取り組み状況、実施状況についてお聞きしています。また、設問21から設問50までは、職場における感覚的な状態についてお聞きしています。

設問1から設問20までの回答を見てみると、概ね満足する回答となっています。各事業者におきまして、良好な職場環境づくりに意識的に取り組んでいる結果が見受けられます。

また、職場をよくする意識を高め、実践していくためにも「作業環境測定」によりリスクの状態を見える化し、「安全衛生教育」により認識を高め、「リスクアセスメント」を行うことで、PDCAを回し、職場を改善していく取り組みが大切だと考えます

☆職場環境を改善するためのキーワード

「作業環境測定」 「安全衛生教育」 「リスクアセスメント」

一方で、設問21から設問50までの回答を見てみると、満足度は高いものの、「どちらでもない」という回答が多く見受けられます。これは非常に興味深い結果と思われます。例えば、ある部分をみると「満足」であるが、ある部分は「不満足」であるように、どちらかに回答を絞れないということもあったのでしょうか。この「どちらでもない」という回答について、皆さまはどのように捉えられるのでしょうか。こうした部分に、現在の職場環境の改善ポイントが隠れているかもしれません。ぜひ、皆さまの職場環境において、満足・不満足「どちらでもない」に目を向けていただく機会になればと思います。

以上